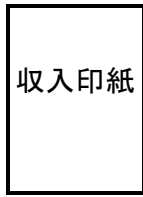


【約束手形金請求】手形を受け戻した所持人が振出人に請求する場合の訴状のサンプル



訴状（手形訴訟）

当事者の表示

〒〇〇〇 - 〇〇〇〇

大阪市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号（送達場所）

原告株式会社丙

同代表者代表取締役 ○ ○ ○ ○

電話番号 ** - **** - ****

ファクシミリ番号 ** - **** - ****

〒〇〇〇 - 〇〇〇〇

大阪市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号

（手形上の表示）大阪府〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号

被告株式会社乙

同代表者代表取締役 ○ ○ ○ ○

約束手形金請求事件

訴訟物の価額 金〇〇〇万円

貼用印紙額 金〇万〇〇〇〇円

予納郵券額 金〇〇〇〇円

請 求 の 趣 旨

- 1 被告は、原告に対し、〇〇〇万円及びこれに対する令和〇〇年〇月〇日から支払済みまで年3パーセントの割合による金員を支払え。
 - 2 訴訟費用は被告の負担とする。
- との判決及び仮執行の宣言を求める。
- なお、本件は、手形訴訟による審理・裁判を求める。

請 求 の 原 因

- 1 訴外株式会社甲は、別紙手形目録記載の約束手形1通（以下「本件手形」という。）を所持していた。
- 2 被告は、本件手形を振り出した。
- 3 原告は、拒絶証書の作成義務を免除して本件手形に裏書をした。
- 4 訴外株式会社甲は、本件手形を支払呈示期間内に支払場所に支払のため呈示したが、その支払を拒絶された。
- 5 本件手形の第2裏書人である原告は、令和〇〇年〇月〇日、訴外株式会社甲に対して〇〇〇万円を支払って本件手形を受け戻した。
- 6 よって、原告は、被告に対し、訴外株式会社甲に支払った〇〇〇万円及びこれに対する受戻の日である令和〇〇年〇月〇日から支払済みまで法定利率年3パーセントの割合による利息（「〇〇〇万円及びこれに対する訴状送達の日翌日から支払済みまで法定利率年3パーセントの割合による遅延損害金」などもある。）の支払を求める。

付 属 書 類

資格証明書 2通

約束手形の写し 甲1号証の1～3

領収書の写し 甲2号証

令和〇年〇月〇日

原 告 株 式 会 社 丙
同代表者代表取締役 ○ ○ ○ ○ 印

大阪地方裁判所 御中

【書類記載上の注意事項】

- 1 当事者の表示欄について

「（手形上の表示）」は、資格証明等と手形に表示された住所が違う場合に記入して

ください。氏名・商号についても同じです。

2 請求の趣旨欄について

「手形訴訟による審理・裁判を求める。」と記載してください。

3 請求の趣旨及び請求の原因欄等について

受戻しの場合、附帯請求は、(i)受け戻した日からの利息、(ii)訴え提起日からの利息、(iii)訴状送達の日翌日からの遅延損害金が考えられます。(ii)及び(iii)は、主に受け戻した日の立証が困難な場合に利用されます。この場合には、請求の原因の5項の記載を「本件手形の第2裏書人である原告は、訴え提起までに、訴外株式会社甲に対して〇〇〇万円を支払って本件手形を受け戻した。」とします。

4 付属書類欄について

受戻しの場合、受け戻した日や金額を特定するために、領収書等の証拠を提出してください。

ただし、請求額が手形金額と同じで、かつ、附帯請求が上記3の(ii)又は(iii)の場合には不要です。

5 様式について

A4サイズの内紙を縦にして、横書き、左綴じで作成してください。また、綴じ代として、左側に約3センチの余白を設けてください。